

【ポスター発表】

社会福祉現場における“循環的”人材育成システム構築の試み

—職場内における人材育成のシステムづくり—

○ 広島国際大学 岡本 晴美 (004347)

キーワード：職場内における人材育成、“循環的”、学習理論

1. 研究目的

社会福祉現場における人材確保と育成は、今もなお喫緊の課題として社会的に認知されている。社会福祉現場の人材育成では、昨今、「キャリアアップの仕組みの構築」として「キャリアパスの導入」の必要性、「キャリアパス対応生涯研修課程」の実施が提唱されている。この「キャリアパス対応生涯研修課程」の目的・特徴を要約すると以下のようになる。職員が自らのキャリアアップの道筋を描きながら目標と見通しをもって研修に臨むこと、そのための整備を各法人・事業所が主体的に行うことを支援し、全国的な普及を図ることで全国共通・標準の仕組みとしての定着を目指す。これにより、事業種別・職種に関係なくあらゆる福祉・介護サービス従事者を対象とすることができ、全国どこでも標準化された研修の受講が可能となる。また、研修実施機関・団体が連携して実施することができ、従事者が職場・勤務地を移動してもキャリアパスに対応できるように修了証の発行、修了者台帳の保存を行うこととしている。

上記のような全国的な取り組みとしての人材育成の整備が必要であることをふまえて、本研究では、職場内における人材育成システムの構築を目的とする。職員の専門性の形成・継承は、実践が行われている現場に身を置き、かかわる人や状況との相互作用を通して行われると考える。すなわち、継続的な就労が専門性の形成・継承を支えることになる。継続的な就労を実現するためには、職場内における相互信頼にもとづく良好な人間関係の形成を視野に入れた人材育成システムが必要と考える。また、職場内における人材育成は、一部の職員によって担われるのではなく、職場のあらゆる職員が関与する仕組みとしてシステムを構築することが望ましいと考える。

2. 研究の視点および方法

【研究の視点】

本研究では、「学習」を社会的実践の一側面と捉え、実践が行われる状況に参加し、実践することで学びが促進されると考える「状況的学習論」をベースに据えながら、学習環境をデザインするという「インストラクショナルデザイン」、効果的な学びの設計を検証する教育効果測定として代表的なモデルであるカーク・パトリックの「レベル4フレームワーク」の考え方にもとづき職場内における人材育成システムに“循環的”という視点を盛り込みシステムの構築をめざす。

【研究の方法】

【研究の視点】で示した理論的な知見にもとづき導きだした“循環的な人材育成システム”をもとに、協力施設である児童養護施設の職員とのディスカッションを重ね、現場での適用可能性について協議を行った。

3. 倫理的配慮

本研究は、社会福祉現場（児童養護施設）の協力を得ながら、現場実態に即した人材育成システムの構築をめざしている。協力施設である児童養護施設の承諾および参考文献、引用文献の扱いについては、一般社団法人日本社会福祉学会「研究倫理指針」を遵守した。

4. 研究結果

職場内における人材育成システム構築のために、どのような仕組みが求められるのかを検討した結果、“循環”をつくり出すことが必要であるとの結論に至った。“循環”を組み入れた人材育成システム・モデルにもとづき、協力施設の実態に即したシステム構築に着手し、その適用可能性についての示唆を得ることができた。

5. 考察

社会福祉現場では、OJT や OFF-JT で学んだ内容を知識・情報として保持するというよりも、“現場の実践に活かす”ことが求められる。理論的な知見にもとづき導きだした人材育成システムでは、2つの“循環”（“人の循環”と“学んだ内容と実践の循環”）を組み入れることで、現場の実践に活かすことを実現するシステムとして構築できると考える。

今後も引き続き、社会福祉現場への適用可能性と具体的な適用方法について探っていく。

【参考文献】

Lave, J.&Wenger, E. (1991) *Situated Learning : Legitimate peripheral participation*. Cambridge : Cambridge University Press. (=1993、ジーン・レイヴ、エティエンヌ・ウェンガー著、佐伯訳・福島真人解説、『状況に埋め込まれた学習—正統的周辺参加』、産業図書)

R.M.ガニエ、W.W.ウェイジャー、K.C.ゴラス、J.M.ケラー著、鈴木克明、岩崎 信監訳（2007）『インストラクショナルデザインの原理』、北大路書房

社会福祉法人 全国社会福祉協議会（2011）『福祉・介護サービス従事者のキャリアパスに対応した生涯研修課程の実施に向けて「キャリアパスに対応した生涯研修課程開発・推進委員会」報告書』

堤宇一編著（2012）『教育効果測定の実践—企業の実例をひも解く』、日科技連

【謝辞】 本研究は、JSPS 科研費 24530758 の成果の一部である。